



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 2003, 79(4):
690-690

ISSUE DATE:

2003-01-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/97400>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成15年1月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第79巻 第4号

ISSN 0525-2997

vol.79 no.4

物性研究

2003 / 1

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し、討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

私は昨年5月から編集委員に加えて頂いたのですが、これまでのところ、編集会議でびしびしと物事を決めてゆく編集長の辣腕に感心しつつ、ただお弁当を食べているのみという状態です。今年からはもう少しは物性研究の編集のお役に立てるように努力したいと思っています。

さて、昨年も世の中の主な話題は不況で、あまり明るくはありませんでした。日本では不況とともに、急速な少子高齢化による社会保険制度の行き詰まりも大きな問題となっています。これについてよく感じるのは、行政から国民に将来の明確なビジョンが示されていないということです。しばらく前に旧厚生省が社会保険の見直し案を出したそうですが、かなり楽観的な将来予測に基づいており、あまり現実的ではない、その場限りのものだと考えられているようです。これでは国民も、いずれ状況の悪化とともに崩しにどんどん悪い方向に進むのではないかという疑念を払拭できず、将来に備えて節約して貯金しよう、子育てもコストが高いからやめよう、と守備的になってしまい、キャッシュフローや出生率の向上にはつながらないのではと思われます。むしろ、増税や切下げを伴う厳しい内容になっても、全ての世代の人達に最低限これだけは保証します、という下限をはっきり提示すれば、みんなもう少し安心して経済活動ができるのではないかと思うのですが。

一方、学問の世界でも、大学や研究機関の統合や独法化を始めとして、暗い話題の方が多かったように思います（統合や独法化は基本的にはネガティブなものとして認識されているようですね）。そんな中で、明るい話題はもちろん日本の研究者が二人も同時にノーベル賞を授賞されたことでしょうか、個人的には、昨年から受け持ち始めた演習などに出てくれている学生の人達が、新聞などで言われている学力低下など微塵も感じさせないほど優秀で、純粋に学問的な興味から熱心に勉強しているのにびっくりしたことが挙げられます。私も彼らと10歳程度しか変わらないのに、最近少々スレ過ぎていたのではないかと反省してしまうほどです。もちろん学生の人達には、純粋なだけでなく、したたかさも身につけて欲しいとは思いますが。大学も時代に合わせて変わってゆく必要はあるのですが、その時々社会情勢だけに左右されたその場限りの変化ではなく、将来を見据えたしっかりとした理念を持って改革を進めて欲しいと思います。最初は熱意を持って勉強していた学生の人達が、やがて学問に対してシニカルにならざるを得なくなるような状況は、避けて欲しいものです。

では、本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

(H. N.)

[物性研究]

編 集 長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
佐々木 豊 (京大・低温センター)
常次 宏一 (京大・基研)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美徳 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (在外)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 79 卷第 4 号 (平成 15 年 1 月号) 2003 年 1 月 20 日 発行

発行人 早 川 尚 男

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541 ~ 3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編 集 長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
佐々木 豊 (京大・低温センター)
常次 宏一 (京大・基研)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美徳 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (在外)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 79 卷第 4 号 (平成 15 年 1 月号) 2003 年 1 月 20 日 発行

発行人 早 川 尚 男

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541 ~ 3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 79-4 (1月号) 目 次

○博士論文解説

ソフトマターのための密度汎関数積分法……………古沢 浩…… 571

○ Sr_2RuO_4 におけるスピン三重項 p -波超伝導の理論 ……野村 拓司…… 663

○編集後記…………… 690

物 性 研 究 79-4 (1月号) 目 次

○博士論文解説

ソフトマターのための密度汎関数積分法……………古沢 浩…… 571

○ Sr_2RuO_4 におけるスピン三重項 p -波超伝導の理論 ……野村 拓司…… 663

○編集後記…………… 690